

# 『認め 支え合い レジリエンスを高める』

## 藤枝市立葉梨中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生歓迎会</li> <li>・団決め集会</li> <li>・わくわく歌おう交流活動</li> </ul>	<学校全体> ・3年生が1年生に歌おう活動の取り組み方を説明する。 ・人間関係づくりプログラム① <学級ごと> ・アイスブレイクやレクリエーションを通して、人間関係作りの土台を築く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議</li> <li>・居心地研修① (居心地の良い学校づくりについて全職員で共有する)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年行事 1年 地域探訪 2年 職場体験学習 3年 修学旅行</li> <li>・団対抗読書キャンペーン (図書専門委員会)</li> </ul>	<学年、学級ごと> ・仲間の良さを発見したり、お互いを認めたりするために、グループ活動を取り入れる。	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はな＊はな読み聞かせ①</li> <li>・合唱交歓会</li> </ul>	<学校全体> ・人間関係づくりプログラム②	
7月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地研修② (授業改善の視点を全職員で確認する)</li> </ul>
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創ろうクラスのパズル(生徒会総務)</li> <li>・団の団結力UP(代議員)</li> <li>・団対抗服装チェック (生活安全専門委員会)</li> </ul>	<学校全体> ・人間関係づくりプログラム③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議 (体育祭や文化発表会のねらいや意義、内容の検討、共通理解)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭</li> <li>・はな＊はな読み聞かせ② (葉梨小・西北小)</li> </ul>	<学校全体> ・ボランティア生徒を募り、小学校への読み聞かせを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地研修③ (山梨大学三井准教授による授業改善講話)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化発表会</li> <li>・はな＊はな読み聞かせ③</li> </ul>		
12月		<学校全体> ・学校保健委員会	
1月		<学校全体> ・人間関係づくりプログラム④	
2月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成会議</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生を送る会</li> <li>・ファイナルコンサート</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地研修④ (今年度の成果と課題を整理)</li> </ul>

## 1 本校のピア・サポート

本校では、「居心地のよい学校づくり」を基盤として、日々の生活・授業・行事・縦割り活動等を通して、日頃から生徒に「絆づくり」の意識をもたせることを念頭に、教育課程全体でピア・サポート活動を行っている。授業や特別活動等、すべての教育活動において、「自ら考え示す～自ら進んで主体的に 自他を理解し、認め合い 互いの思いを伝え合う～」という思いを含めた活動をしている。また、年4回、人間関係づくりプログラムを実施し、一緒に生活する仲間が安心して楽しく学校生活を送るためには、どのような行動や言動が望ましいかについても考えを持たせている。

## 2 本年度の取組

### (1) 授業において

「心が動く授業～生徒が自分から学びに向かう授業過程の工夫～」を研修テーマとして、授業案に生徒指導の5つの視点を位置づけ、その視点で授業改善を行い、日々の授業づくりに取り組んでいる。ピア・サポートの観点からもお互いを「認め合い」「支え合う」ことで、共に高め合う授業づくりを行った。

### (2) 特徴的な活動

#### ○全校道徳<提言1>

3学年混合の縦割り集団で道徳の授業を行った。各教室に戻ると「先輩は考えることが違った」「普段の道徳では聞くことができない意見が聞けた」などの感想があり、1、2年生は、上級生から多くの学びを得た授業となった。3年生は、自信を持って発言をできる場となった。

#### ○はな\*はな読み聞かせ<提言8>

年2回、地域のボランティアの方々へ学級ごと、読み聞かせをしていただいている。また、年1回、有志の中学生が校区の小学校に赴き、小学生に読み聞かせを行っている。事前指導として、ボランティアの方々をお招きして、本の選び方や読み方の工夫の指導をしていただいている。中学生は、自分の担当する学年や学級に合った本を選び、読み方や関わり方について工夫していた。小学生と中学生の双方にとって意義のある活動となった。

#### ○生徒会活動における縦割り活動の充実<提言6>

各専門委員会で縦割り集団を意識したキャンペーンを行った。生活安全専門委員会では、服装を整えるために団ごとのポイントを競う活動を行った。図書専門委員会では、読書に触れる機会を増やすために団ごと、図書室で本を借りた冊数を競う活動を行った。また、3年生が1年生に合唱練習の方法や校歌を教える「わくわく歌おう交流活動」も本年度から始まった。縦割り活動を意識することで、3年生はリーダーとしての自覚を持つことができた。1、2年生は、3年生を手本として高め合う活動となった。

## 3 本年度の成果と来年度に向けて

本年度は、縦割り活動の機会を増やしたり、地域との関わりを持った活動を行ったりしたことで、学校全体として温かく、活気あふれる活動を積み上げることができた。また、生徒会活動を中心に生徒主体のピア・サポート活動が行われている。しかし、ピア・サポート活動を実施する意味については生徒の理解が十分ではないように感じる。そこで、来年度は、年度初めに「居心地のよい学校とはどういう学校か」を生徒に投げかける場を設けたい。そして、ピア・サポートに対する共通理解を図り、「居場所づくり」「絆づくり」の意識を学校全体で高めていきたい。